

経済協力開発機構化学品・バイオ技術委員会 化学品プロジェクト分担金

令和4年度予算額0.1億円（0.1億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 経済協力開発機構（OECD）は、化学物質の安全性試験のガイドラインや試験データの信頼性を確保するための優良試験所規範（GLP）等を策定する、化学物質安全分野の国際的な中核機関です。
- OECDで策定されたテストガイドラインを用いることにより、加盟国の企業は、他国において同様の試験を重複実施する必要がなくなり、化学製品の貿易の円滑化につながります。
- 我が国も、OECD化学品プロジェクト参加国の一員として応分の負担をし、化学物質を安全に安心して使用できる社会の構築のための国際貢献、国際協調等を推進します。
（参考：我が国の令和3年度分担率は、約13%）

成果目標

- 平成10年度からOECDに分担金を支出しており、プロジェクトに積極的に参加し、化学製品の貿易の円滑化に貢献します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

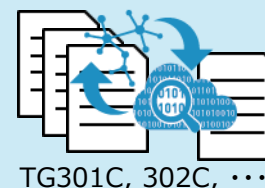
- OECDの化学品プロジェクトは、加盟国における、健康と環境を保護するための化学物質管理を支援します。
- 例えば、化学物質の試験の国際的な平準化を図るために、試験のテストガイドラインの策定や優良試験機関の規範の整備、各国における試験データの相互受け入れの制度の運用等を行っています。



試験方法のテストガイドラインの整備



試験データの相互受け入れ制度



TG301C, 302C, ...



共通データベース構築への貢献

